

会議結果報告書

令和7年6月20日

会議の名称	令和7年度 第1回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議
開催日時	令和7年6月12日（木）14時00分～15時30分
開催場所	志木市役所 大会議室3-3
出席委員	岩崎委員、相原委員、芝原委員、宮本委員、正岡委員、瀧委員、根岸委員、 崎田委員、西委員、森委員、木野委員、奥山委員、松井委員、長内委員、 澁谷委員、田中委員、當麻委員、佐藤委員、大原委員、土屋委員、丸山委員 生方委員、辻委員、宮川委員（計24人）
欠席委員	なし
議題	議事 （1）在宅医療・介護連携推進事業及び認知症施策推進事業について これまでの取組と令和7年度の計画について （2）ワーキンググループ活動について
結果	審議内容の記録のとおり（傍聴者0人）
事務局	長寿応援課齊藤副課長、増田主査、大野主任、水谷主事 朝霞地区医師会 地域包括ケア支援室 菅田コーディネーター
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p><第1部></p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>岩崎会長</p> <p>朝霞地区4市の中で最近は在宅医療と介護連携の活動が多く行われており、重要性が認知され始めています。志木市ではACP研修会やケアカフェしきなど多くの活動をしていると様々な方面から聞くことがあるので、今日集まっている皆様のおかげで在宅医療と介護連携の周知も進んでいると感じています。</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>委員、事務局の自己紹介</p>	

4 議事

(1) 在宅医療・介護連携推進事業及び認知症施策推進事業について

これまでの取組と令和6年度の計画について
事務局)

国から令和7年3月に発行された在宅医療介護連携推進事業の手引き (Version 4) では、団塊の世代が75歳以上となる2025年や、その後2040年にかけて高齢者数が急増し、在宅医療介護の需要がピークを迎えると予測されている。この手引きは医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、地域の実情に即した切れ目のない医療と介護の支援を推進することが必要であるとなっている。

国から基本方針が示され、県は介護保険事業支援計画、市町村は介護保険事業計画に基づいて具体策を定める仕組みになっている。

市町村では令和6年度から8年度を対象にした第9期介護保険事業計画を進行中で、各地域で医療と介護連携強化が柱となっている。志木市でも高齢者人口と介護サービスの認定率が毎年増加している状況を踏まえ、PDCAサイクルを活用した事業の評価や改善も行う必要がある。

過去3年間の取組としては、研修やケアカフェしきが実施され、約300名以上が参加して情報共有が進められた。他にもACPリーフレットを作成し、約7000部を配布するなど市民への啓発や支援者の研修が積極的に行われている。また、朝霞地区では医師会や地域包括ケア支援室の関係者と連携し、相談支援や急変時対応を含む活動が展開されている。

認知症施策では、令和6年度の各事業の実績を報告した。
また、今年度は新たに「チームオレンジ」の立ち上げを目指し、チームオレンジ設置の要件となるステップアップ講座を実施予定である。

なお、令和7年度も9月のアルツハイマー月間において認知症に関する事業を開催し、認知症サポーター養成講座など認知症についての普及啓発を行う予定である。

(2) ワーキンググループ活動について

ワーキンググループ活動について、今年度は①市民への普及啓発と②医療・介護関係者連携推進の2つのグループに分けて進める体制となった。具体的には、①は市民への在宅医療・介護の普及啓発を主軸に講演会やイベントの実施を計画しており、②は医療介護関係者を対象とした研修の開催など医療と介護の連携推進を目的とした事業を検討している。

<ワーキンググループ>

- ①在宅医療・介護連携の普及啓発（ACP 普及啓発含）グループ／岩崎委員、芝原委員
宮本委員、瀧委員、西委員、森委員、木野委員、澁谷委員、田中委員、佐藤委員
土屋委員、辻委員、計 12 人
- ②医療・介護関係者連携促進グループ／相原委員、正岡委員、根岸委員、崎田委員、
奥山委員、松井委員、當麻委員、大原委員、丸山委員、生方委員 計 10 人
なお、菅野病院（認知症疾患医療センター）及び朝霞保健所は広域連携での出席目的
のため、ワーキンググループは除外とした。

6 その他

各団体等からの周知事項

- ・市役所（事務局）よりエンディングノートについて

<次回以降日程>

- ・第 2 回会議

令和 7 年 10 月

<第 2 部>

- ①在宅医療・介護連携の普及啓発（ACP 普及啓発含）グループ
 - ②医療・介護関係者連携促進グループ
- に分かれて今後の具体的な取組について協議を行った。

以 上